

○公共交通空白・不便地域解消にむけた、**コミュニティ交通の導入による停留所の増加**に伴い、**公共交通にアクセスしやすい環境は向上**

○一方で、市民の移動手段確保のため、運行本数はほぼ同一のサービス水準は維持するものの、**新型コロナウイルス感染症拡大に伴うまん延防止等重点措置の適用による外出抑制**などが影響し、**公共交通の利用者数や公共交通を利用する市民の割合は減少**

○公共交通の利用者数の減少等に伴う**公共交通事業者の収支状況の悪化により、公共交通への公的資金投入額も増加**

数値目標	基準値 (計画策定当初)	基準値 (計画中間年度)	実績値	目標値
公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率の維持				
数値目標 1 公共交通にアクセスしやすい区域の人口カバー率 ※アクセス可能地域内人口／熊本市域人口	83.9% 〈H27年度〉	85.6% 〈R2度〉	85.7% 〈R3度〉	85.6% 〈R7年度〉
公共交通利用者数の増加				
数値目標 2 公共交通機関の年間利用者数 ※各公共交通機関の利用者数の合計値 ※目標値には新たなコミュニティ交通を含む	55,436千人 〈H27年度〉 (H26年度実績)	53,216千人 〈R2年度〉 (R元年度実績)	35,999千人 〈R3年度〉 (R2年度実績)	56,000千人 〈R7年度〉 (R6年度実績)
公共交通機関を利用する市民の割合の増加				
数値目標 3 目的地に行くときに公共交通機関を利用する市民の割合 ※毎年度実施する市民アンケートの調査の結果。 ※週に 1 回以上利用、または月に 1 回以上利用と回答した人の割合	47.5% 〈H27年度〉	(31.3%) 〈R2年度〉 ※R3.1/5～2/5	(28.8%) 〈R3年度〉 ※R4.1/14～2/4	50.0% 〈R7年度〉
公共交通の収支率の向上				
数値目標 4-1 公的資金が投入されている公共交通の収支率（バス） ※バス事業者（5 社）の収入額／支出額	—	63.9% 〈R2年度〉 (R元年度実績)	49.7% 〈R3年度〉 (R2年度実績)	63.9% 以上 〈R7年度〉 (R6年度実績)
数値目標 4-2 公的資金が投入されている公共交通の収支率（鉄軌道） ※鉄軌道（電鉄・市電）の収入額／支出額	—	93.8% 〈R2年度〉 (R元年度実績)	64.6% 〈R3年度〉 (R2年度実績)	93.8% 以上 〈R7年度〉 (R6年度実績)
利用者 1 人当たりの公的資金投入額の縮減				
数値目標 5 利用者 1 人当たりの公共交通への公的資金投入額 ※(バス(5社)、鉄軌道(電鉄・市電)、コミュニティ交通の公的資金投入額) / 年間利用者数 ※公的資金は、路面補修等設備投資、災害分（コロナ含む）を除く運行に関する補助	—	21円／人 〈R2年度〉 (R元年度実績)	36円／人 〈R3年度〉 (R2年度実績)	21円／人以下 〈R7年度〉 (R6年度実績)

公共交通に対する支援について

○公共交通の利用者数の減少等に伴う**公共交通事業者の収支状況の悪化により**、バス事業者、地域鉄道事業者、フェリー事業者、交通局に対し、通常の運行費補助に加え、**国の交付金を活用し、コロナ対応分として支援を拡充**。

○タクシー事業者に対しては、令和２年度に感染防止対策支援を実施。

年度	事業名	対象事業者	通常分	コロナ対応分
令和２年度 (決算)	地方バス路線維持費助成	路線バス事業者	410,466千円	363,200千円
	交通事業会計繰出金	交通局	389,000千円	251,400千円
	熊本市電「臨時急行バス」運行経費	貸切バス事業者	—	43,423千円
	熊本市タクシー事業者感染防止対策支援事業補助金	タクシー事業者	—	10,658千円
	熊本市地域鉄道緊急支援事業補助金	地域鉄道事業者	—	25,294千円
	熊本市航路事業者緊急支援事業補助金	フェリー事業者	—	16,489千円
合計			799,466千円	710,464千円
令和３年度 (当初・10月補正)	地方バス路線維持費助成	路線バス事業者	549,000千円	352,000千円
				※124,000千円
			小計	476,000千円
	交通事業会計繰出金	交通局	466,600千円	214,000千円
				※90,000千円
			小計	304,000千円
	熊本市地域鉄道緊急支援事業補助金	地域鉄道事業者	—	※37,000千円
	熊本市航路事業者緊急支援事業補助金	フェリー事業者	—	※28,000千円
合計			1,015,680千円	845,000千円
令和４年度 (当初)	地方バス路線維持費助成		587,000千円	556,700千円
	交通事業会計繰出金		455,500千円	349,000千円
合計			1,042,500千円	905,700千円

※10月補正計上分